

急性期充実体制加算等の施設基準に係る届出書添付書類

(新規・8月報告)

1. 届出に係る区分（届出を行うものに「✓」を記入すること。）

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 急性期充実体制加算 1 |
| <input type="checkbox"/> 急性期充実体制加算 2 |
| <input type="checkbox"/> 小児・周産期・精神科充実体制加算 |
| <input type="checkbox"/> 精神科充実体制加算 |

2. 許可病床数

許可病床数	床
-------	---

3. 急性期充実体制加算 1 及び 2 の施設基準

※□には、適合する場合「✓」を記入すること。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 急性期一般入院料 1 を算定する病棟を有する保険医療機関である。 |
| <input type="checkbox"/> 急性期一般入院料 1 を届け出ている病棟について、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱを用いて評価を行っている。 |

1 手術等に係
る実績

以下を満たしている。

急性期充実体制加算 1 :

- ☐
- アの(イ)及び、(ロ)から(ト)までのうち5つ以上を満たしている。

急性期充実体制加算 2 :

- ☐
- イの(イ)又は(ロ)を満たし、かつ、アの(イ)及び、(ロ)から(ト)までのうち2つ以上を満たしている。

以下に年間件数又は許可病床 1 床あたりの年間件数※¹を記入※²すること。

※1 () の許可病床 1 床あたりの記載は、令和 6 年 3 月 31 日時点で急性期充実体制加算に係る届出を行っている許可病床数 300 床未満の保険医療機関において記入すること。

※2 基準に該当するとして届け出るもののみの記入で差し支えないこと。

ア

(イ) 全身麻酔による手術
(2,000 件／年以上)
(6.5 件／年／床以上)

件／年
(許可病床 1 床あたり 件／年)

うち、緊急手術
(350 件／年以上)
(1.15 件／年／床以上)

件／年
(許可病床 1 床あたり 件／年)
病院において、「手術が緊急である」と判定する仕組：

	<table border="1"> <tr> <td>(ロ) 悪性腫瘍手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ハ) 腹腔鏡下手術又は胸腔鏡 下手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ニ) 心臓カテーテル法による 手術 (200 件／年以上) (0.6 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ト) 心臓胸部大血管の手術 (100 件／年以上)</td><td>件／年</td></tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td><td>(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> </table>	(ロ) 悪性腫瘍手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ハ) 腹腔鏡下手術又は胸腔鏡 下手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ニ) 心臓カテーテル法による 手術 (200 件／年以上) (0.6 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ト) 心臓胸部大血管の手術 (100 件／年以上)	件／年	イ	(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)
(ロ) 悪性腫瘍手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																	
(ハ) 腹腔鏡下手術又は胸腔鏡 下手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																	
(ニ) 心臓カテーテル法による 手術 (200 件／年以上) (0.6 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																	
(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																	
(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																	
(ト) 心臓胸部大血管の手術 (100 件／年以上)	件／年																	
イ	(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																
	(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																
2 外来化学療法の実施を推進する体制	<p>1 のアの(ヘ)を満たしているものとして届出を行っている場合のみ記入すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 外来腫瘍化学療法診療料 1 の届出を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 化学療法を実施した患者全体 (①) に占める、外来で化学療法を実施した患者 (②) の割合 (③) が 6 割以上である。</p> <p>① 化学療法を実施した実患者数 () 件／年</p> <p>② うち、外来で化学療法を実施した実患者数 () 件／年</p> <p>③ $① \div ② \times 10 =$ () 割</p>																	
3 24 時間の救急医療提供	<p>ア 該当するものを記載すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 救命救急センター又は高度救命救急センターを設置している</p> <p><input type="checkbox"/> 救急搬送件数 (2,000 件／年以上) (6.0 件／年／床以上) 件／年 (許可病床数 1 床あたり 件／年)</p> <p>イ ・精神科医が速やかに診療に対応できる体制 (<input type="checkbox"/> 自院 ・ <input type="checkbox"/> 他院) (他院の場合は当該保険医療機関名を記載 :)</p>																	

	・精神疾患診療体制加算２の算定件数又は救急搬送患者の入院３日以内における入院精神療法若しくは救命救急入院料の「注２」に規定する精神疾患診断治療初回加算の算定件数の合計（２０件／年以上） <div style="text-align: right;">件／年</div>	
	ウ <input type="checkbox"/> 救急時医療情報閲覧機能を有している	
４ 高度急性期医療の提供	以下の入院料のうち、届け出ている入院料の病床数を記入すること。	
	<input type="checkbox"/> 救命救急入院料	床
	<input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料	床
	<input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料	床
	<input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	床
	<input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料	床
	<input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料	床
	<input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料	床
	<input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料	床
５ 感染対策	<input type="checkbox"/> 感染対策向上加算１の届出を行っている。	
６ ２４時間の画像診断及び検査体制	（ <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ）	
７ 薬剤師の当直体制を含めた２４時間の調剤体制	（ <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ）	
８ 精神科リエゾンチーム加算等の届出	<input type="checkbox"/> 精神科リエゾンチーム加算の届出を行っている。 <input type="checkbox"/> 認知症ケア加算１の届出を行っている。 <input type="checkbox"/> 認知症ケア加算２の届出を行っている。	
９ 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制	ア 院内迅速対応チームの構成員（救急又は集中治療の経験を有し、所定の研修を修了した者の名前を記載すること。） ・医師： ・専任の看護師：	
	イ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に関する改善の必要性等について提言するための責任者名：	
	ウ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者に対する対応方法に係るマニュアルを整備し、職員に遵守させている。 <div style="text-align: right;"><input type="checkbox"/></div>	
	エ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善に関する委員会又は会議の開催日： うち、イの責任者の出席日：	

	<p>オ 院内講習の開催日（開催予定日）：</p> <p>1 回目 月 日 2 回目 月 日</p>
10 外来縮小体制	<p>ア 該当するものを記入すること。</p> <p><input type="checkbox"/> ・初診に係る選定療養の報告を行って実費を徴収している。</p> <p>・紹介割合の実績が 50%以上かつ逆紹介割合の実績が 30%以上</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・令和 4 年度に紹介割合又は逆紹介割合が、基準を満たしていない場合に、令和 5 年度の届出を実施可能とするために予定している、確実な取組：</p> <p>院内で設定している数値目標：</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 紹介受診重点医療機関である。</p> <p>イ 前年度 1 年間の初診・再診の患者数を記入すること。</p> <p>① 初診の患者数 () 名</p> <p>② 再診の患者数 () 名</p> <p>③ 紹介患者数 () 名</p> <p>④ 逆紹介患者数 () 名</p> <p>⑤ 救急患者数 () 名</p> <p>⑥ 紹介割合 () %</p> <p>⑦ 逆紹介割合 () %</p>
11 処置の休日加算 1 等の届出	<p><input type="checkbox"/> 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 の届出を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 の届出を行っていない。</p> <p>・届出を行っていない理由：</p> <p>・今後の届出予定について：<input type="checkbox"/> 予定あり 令和 年 月頃</p> <p><input type="checkbox"/> 届出を行う見込みがない</p> <p>・「届出を行う見込みがない」場合、「届出を行うことが望ましい」とされているにもかかわらず、届出を行わない理由：</p> <p>・「届出を行う見込みがない」場合、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制に係る取り組み状況（見込み等も含む。）について、院内の医療従事者に対しどのように説明を行っているのか、内容を記載すること：</p>
	<p>以下のいずれも満たすこと。</p>

[illegible]

〔記載上の注意〕

- 1 「急性期充実体制加算 1 及び 2 の施設基準」の「3」のアを記入した場合には、24 時間の救急体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 2 「急性期充実体制加算 1 及び 2 の施設基準」の「10」の「初診の患者数」「再診の患者数」「紹介患者数」「逆紹介患者数」「救急患者数」「紹介割合」「逆紹介割合」については区分番号「A000」初診料の「注2」及び「注3」並びに区分番号「A002」外来診療料の「注2」及び「注3」に規定する算出方法を用いること。
- 3 各実績において「年間」とは、前年度4月1日～3月31日の期間を指す。
- 4 「4. 小児・周産期・精神科充実体制加算及び精神科充実体制加算の施設基準」の「4」については、精神疾患を有する患者に対し、24 時間対応できる体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 5 様式6を添付すること。
- 6 「1 手術等に係る実績」「2 外来化学療法の実施を推進する体制」について、院内への掲示物について、A4サイズに縮小し、添付すること。
- 7 手術等に係る実績のうち、許可病床数 300 床未満の保険医療機関の基準については、令和6年3月31日において現に急性期充実体制加算の届出を行っている保険医療機関において、令和8年5月31日までの間に限り適用されるものであること。
- 8 「2」の「外来で化学療法を実施した実患者数」とは、1サイクル（クール、コースと同義。抗悪性腫瘍剤の投与と投与後の休薬期間を含む一連の期間を指す）以上、外来で化学療法を実施した実患者数を指す。
- 9 「3」のウ「救急時医療情報閲覧機能を有している」については、令和7年4月1日以降に届出を行う場合にのみ記入すること。